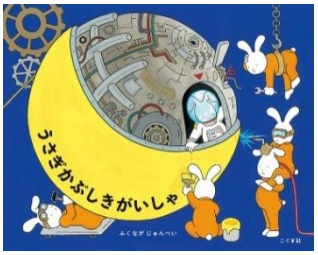
こどものほん　新刊あんない

2025 年 11 月号



『うさぎ かぶしきがいしゃ』

ふくなが じゅんぺい//作　E913 フ　こぐま社　2025 年 9 月発行

森の中に着陸した月から、うさぎが出てきて「うさぎかぶしきがいしゃ」へ入っていきます。なんとそこでは、うさぎたちが働いていました！実は、月が空に昇るのは、うさぎたちの仕事。仕事が終わってご飯を食べたあと、月が昇る時間になりますが、月のパイロットが眠っちゃって起きません！起きないパイロットを置いて、他のうさぎたちは月に乗り込んでいきます。さて、月は無事に空へ昇るのでしょうか？

『あっちにもこっちにも こども食堂』

もち なおみ//作　K369 モ　文研出版　2025 年 8 月発行

いつもより早い時間に出て、小学校で食べる朝ごはんや、大学生と子どもが運動などで交流したあとに一緒に食べる夕ごはんなど、子どもが気軽に来やすいように様々な年代の地域の人々が、協力・工夫しているこども食堂。本書では、実際にこども食堂を開催している学校や施設での体験をもとにして書かれています。訪れる子どもたちの、明るく楽しそうな雰囲気が伝わってくる一冊です。

『あくびなかまと はらっぱで』

小島 敬太//作　鬼頭 祈//絵　K913 コ　偕成社　2025 年 8 月発行

甘い匂いの草に誘われてやってきた子ひつじ。甘い匂いの風に吹かれながらゆったりとしているバイソン。歌を歌いながら気持ちよさそうにしているラクダ。

ヒヅメが 2 つに割れている動物の種類、「ぐうていもく(偶蹄目)」。そんなぐうていもくたちが、暖かい昼下がりのようなゆるやかな日々を、甘い草の生えた原っぱで過ごすお話です。

『小泉セツとハーンの物語 小泉八雲「怪談」誕生のひみつ』

三成 清香//著　長田 結花//絵　K930 ハ　少年写真新聞社　2025 年 8 月発行

小泉八雲の『怪談』が誕生した経緯と、ハーン(八雲)と妻・セツの生い立ちから出会い、そして最期までをイラストや写真を交えて紹介しています。

「小泉八雲」が誕生するまでに何を見て、経験してきたのか。また、セツが語る怪談をハーンはどう受け取っていたのか。物語仕立てで、子どもにもわかりやすく構成されています。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす→資料検索→新着検索→☑新刊検索または☑新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。